

海外派遣留学プログラム 帰国報告書

記入日	2023/7/13
所属学部・研究科・学府	工学部
所属学科・専攻	総合工学科医工学コース

1. 留学先について

留学先大学名	ロイヤルメルボルン工科大学 (RMIT大学)							
留学先所属学部等	Engineering							
留学期間	出発日	2023/2/13	入学日	2023/2/27	修了日	2023/6/23	帰国日	2023/7/2
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介) の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()					
	通学時間	10分					On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース <small>✓を入れてください</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> () 人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()				
	共有スペース <small>✓を入れてください</small>	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他()	
食事	自炊	70 %	学食	%	外食	30 %	その他	% ()
保険	海外旅行保険 <small>(名称・加入プラン名)</small>	JTBトータルサポートプログラム(G)						
	留学先国・大学指定保険 <small>(名称・加入内容)</small>	OSHC(medibank)					<input checked="" type="checkbox"/>	加入必須
	その他加入保険							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄ バンダルスリブガワン(飛行機・行き) ⇄ メルボルン(飛行機) チャンギ(飛行機・帰り)							

2. 留学資金の内訳

自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	200,000 円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	400,000 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/>	JASSO	円	<input checked="" type="checkbox"/>	その他名称 (業務スーパー・ジャパンドリーム財団)	600,000			円
その他	<input type="checkbox"/>	()							円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	120万	円
-----	---	------	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			170,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			73,920	円
その他の保険料	AUD	322	30,000	円
査証・在留許可証	AUD	659	63,000	円
住居	AUD	5,375	520,000	円
光熱費			家賃に含まれる	円
食費	AUD	1,800	170,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書, 教材費			0	円
その他大学に支払った経費			0	円
その他 (携帯通信料)	AUD	120	11,500	円
その他 (生活用品)			20,000	円
その他 (旅券取得)			16,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	現地で開設した口座から引き落とし
その他	クレジットカード

3-3. お金の管理方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	5万 円	<input type="checkbox"/>	その他 ()	円
留学中	<input checked="" type="checkbox"/>	海外送金	<input type="checkbox"/>	キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/>	その他 (クレジットカード)

4. 学業面

履修科目名	種類	単位数	単位互換認定 申請の有無		
	ex.正規/聴講				
1 Biomedical Signal and Image Processing	正規	12	○	有	無
2 Biomedical Instrumentation and Electronics	正規	12	○	有	無
3 Software Engineering Design	正規	12	○	有	無
4				有	無
5				有	無

4-1. 授業科目の選択, 登録方法

Enrollment onlineというページで履修登録を行います。渡航前の手続き時点で仮決定した授業を登録しましたが、現地でも追加や変更は可能でした。同じ授業が週に何回か開講されている場合は、対面かオンライン、授業時間等を自分好みに選べました。myTimetableというページで履修登録した授業の時間割を確認することができ、調整に役立てました。千葉大と同じように履修登録期間を過ぎると変更や登録不可能になるので注意が必要です。

4-2. 授業内容, 方法に関して

授業によって週に3~5時間の授業時間数でした。私の受講した授業は20人程度の少人数で、先生との距離も近く質問しやすい環境にありました。講義資料と動画はCanvasのページで事前に公開されているので、予習を行うようにして授業についていけるように対策していました。授業時間内はグループやペアになって実験を行ってそれについて議論を行い、レポートを作成するといった流れでした。

4-3. 語学力について

1対1の会話の時は、相手にゆっくり話してもらい、自分の英語も理解してもらえ、あまり困る場面はありませんでした。しかし、複数人での会話では話のスピードに付いていくのが厳しく、授業の議論などで自分の意見を述べる時は言葉がすらすら出てこない場面では、辛いと感じることもありました。どの授業も周りの人に恵まれ、助けてもらっていました。オーストラリアは留学生が多く、第2言語への理解があり暮らしやすいですが、あるに越したことはないので、渡航前にスピーキング力を上げておくことをおすすめします。

4-4. 図書館など学内施設について

図書館は自習スペースが充実しており、集中して勉強できる環境が整っていました。基本的に9:00から21:00くらいまで空いていたので、よく使っていました。

4-5. その他

特にありません

5. 生活面

5-1. 住居について

学生寮の3人部屋に滞在していました。3人部屋と言っても、リビングとキッチンが共用で、トイレ/バスは自分の部屋に含まれているタイプなので、ルームメイトとの問題は特にありませんでした。この寮には、1人部屋やトイレ/バスを2人で共用で使う4人部屋もありました。施設はとても綺麗で、スタディルームや共用で使えるスペースが充実しており、治安も良かったです。徒歩10分以内の距離にスーパーもあり、便利でした。

5-2. 食生活について

平日は基本的に自炊をし、休日は友人と外食することが多かったです。外食は最低でも\$15ほどなので、なるべく自炊するように心がけていました。最初のうちは安いのでパスタをよく作っていました。日本食が恋しくなった時は、スーパーでお米を買ってお鍋で炊いていました。アジアスーパーや日本食レストラン(特にお寿司)は街中にもよくあるので、高いですが買うのに困ることはありませんでした。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

寮のインターネットは大学のwifiを使っていました。携帯のSIMカードは、現地のスーパーで1年のプリペイド式カードを購入し、使っていました。

5-4. 服装について

メルボルンは寒暖差が激しく、渡航時は夏で冬服は少ししか持って行かなかったため、現地でニットやコートなどを購入しました。ただ、日本で買うよりもやはり高いのでできるだけ持って行った方が良いと思います。DFOというアウトレットではセールで安く購入することができるのでおすすめです。

5-5. 健康管理について

特に体調を崩すことはありませんでしたが、念の為日本から常備薬を持って行きました。冬は朝夜が特に冷え込むので、着込んで体調を崩さぬよう対策していました。

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について

利用しませんでした。

5-7. 課外活動について

特にありません

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

留学生向けのイベントに何度か参加して友人を作りました。

5-9. 日本から持参してよかったもの

ヒートテック、ウルトラライトダウン、インスタントの日本食、日本のお菓子。
ヒートテックやウルトラライトダウンなど薄手で暖かいものは、スーツケースでも場所を取らないので持って来て良かったと思いました。自炊するときにレンジで温めるご飯やインスタントの味噌汁はよく使っていました。日本のお菓子はお世話になった友人にメッセージと一緒に渡したら喜ばれました。

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

特にありません

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

多国籍文化で様々なバックグラウンドをもった人がいるので、色々な文化に触れることができました。そのため、一概には言えませんが、出会った人は皆親切でいい人ばかりでした。とにかく自分から話しかけることを心がけていました。マナーについては、公共交通機関の中で電話をしている人や音楽を大音量でかけている人がいることに最初は驚きましたが、皆気にしていない様子で私も段々慣れていきました。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

ニュージーランド

期間：2023年6月17日～2023年6月21日(4泊5日) 費用：約10万円

その他

休日の友人との外食、お出かけ。

日本の家族や友人との電話。

5. その他

5-1. 留学先大学について

RMIT大学は交通の便が良く、留学生の数も多く、学生へのサポートが手厚く過ごしやすかったです。毎週水曜日には、free lunchでピザやスープ、パンなどがもらえたり、缶詰やパスタなどを無料で配布するイベントが何回か行われており、とても助かっていました。講義はレベルが高く、周りの学生もやる気のある人が多く、とても刺激になりました。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

オーストラリアは留学にとってもおすすめできると思います。環境的にも住みやすかったですし、色々な国の友達ができました。渡航前や最初の頃は不安なことも多かったですが、やってみたらできたことが自信につながり、物事のハードルが下がりました。その他にも海外の大学で授業を受けたことや自国を離れて長期間生活したことは、学びになったことが多く、留学に行けたことに満足しています。英語力に不安があっても、諦めずにチャレンジしてほしいです。

5-3. 留学を終えて

最初こそは誰も知り合いがない土地で、頼れる人がおらず孤独で辛いと思う時期がありました。ですが、その経験を通じて成長できたと思いますし、今まで当たり前と思っていたことや環境のありがたみを感じました。留学に行っていなかったら出会えていなかったであろう人にたくさん出会え、今でも連絡を取っている友人と出会えたことは本当に嬉しく思います。高校の頃から大学で長期留学に挑戦したいと思っていたので、実現することができて良かったです。4か月半の限られた時間でしたが、とても濃い時間を過ごせました。

お疲れさまでした。